

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

| | | | | | | |
|-------|-------------------|---|---|------|--------------|----------|
| 一般会計 | | | | | 事務事業分類 | A 一般事務事業 |
| 事務事業名 | 地域まちづくり支援事業(堺区) | | | | シート番号 | 211-010 |
| 担当部署名 | 堺区役所 | 局 | 部 | 自治推進 | 課 評価責任者(課長名) | 小川 |

Ⅰ. 基本情報

| | | | | | | |
|------|---------|--|----------------------|---|-----------------------|-------------|
| 基本情報 | 1 | 堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け | 政策 | 7 | 地域主権を確立し、真の自治都市を実現します | 後期実施計画の位置付け |
| | | | 施策 | 4 | 区域の特色を活かしたまちづくりの推進 | 有 |
| | 2 | 事業開始年度 | 平成 24 年度 | | 終了(予定)年度 | 年度 |
| | 3 | 根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等) | 堺市地域まちづくり支援事業補助金交付要綱 | | | |
| | 4 | 関連計画 | | | | |
| 5 | 事業実施の経緯 | 地域課題を解決するため、「地域のことは地域が一番よくわかっている」という考え方のもと行うものである。堺区では、平成29年度より応募型事業を見直し、団体の利用や事業効果も期待できるものとして、子どもから大人までが参加できるスポーツを通じて地域住民の交流を深め、連帯感の醸成を図る堺区地域交流スポーツ教室事業を実施している。(H31から文化事業も追加)また、各事業をよりよくするため、団体間での情報共有も進めている。特に安全安心に関する事業について、新しい取り組みや他の団体の事例などを共有し、より高い事業効果となるよう取り組んでいる。 | | | | |

Ⅱ. 事業概要

| | | | | | | |
|------|--------------|--|--|--|--|--|
| 事業概要 | 6 | 事業の実施主体(誰が実施しているのか。) | <input type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 () | | | |
| | 7 | 事業の対象(誰を、何を対象としているのか) | 「校区まちづくり協議会」が実施する、校区の全住民を対象とする地域課題解決のための事業 | | | |
| | 8 | 事業の目的(どのような状況にしたいのか) | 地域住民が自らの課題を自ら主体的・自己完結的に解決するための取組・事業に対して補助金を交付することで、市民協働・市民参加による地域のまちづくりを推進し、もって住民自治を促進することを目的とする。 | | | |
| | 9 | 事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど) | 校区自治連合会や校区福祉委員会など校区の多様な団体により構成される「校区まちづくり協議会」が主体となって実施する事業に対し、区民まちづくり基金を財源として補助金を交付することにより、校区住民が自らの課題を自らで主体的・自己完結的に解決するための校区レベルでの活動に対する支援を行い、市民協働・市民参加による共助の地域まちづくりを推進する。 | | | |
| 10 | 直接実施以外の主な支出先 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 各校区まちづくり協議会 | | | | |

Ⅲ. 投入量

| 事業コスト | 項目 | 単位 | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|---------------------|-----------------|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | |
| 11 | 事業費 (a) | 千円 | 13,600 | 12,800 | 13,600 | 11,879 | 13,600 | 12,200 | 13,600 | |
| | 主な事業費内訳 | 地域まちづくり支援事業 | 千円 | 13,600 | 12,800 | 13,600 | 11,879 | 13,600 | 12,200 | 13,600 |
| | | | 千円 | | | | | | | |
| | | | 千円 | | | | | | | |
| | 財源内訳 | 国・府支出金 | 千円 | | | | | | | |
| | | 受益者負担金(使用料、手数料等) | 千円 | | | | | | | |
| | | 市債 | 千円 | | | | | | | |
| その他(区民まちづくり基金繰入金) | | 千円 | 13,600 | 12,800 | 13,600 | 11,879 | 13,600 | 12,200 | | |
| | 一般財源 | 千円 | | | | | | | 13,600 | |
| 12 | 人件費 (b) | 千円 | 1,640 | 1,640 | 1,640 | 1,640 | 1,620 | 1,620 | 1,640 | |
| 13 | 総コスト(c)=(a)+(b) | 千円 | 15,240 | 14,440 | 15,240 | 13,519 | 15,220 | 13,820 | 15,240 | |

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

| | | | |
|-------|-------------------|-------|---------|
| 事務事業名 | 地域まちづくり支援事業(塚区) | シート番号 | 211-010 |
|-------|-------------------|-------|---------|

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

| 令和元年度実績 | | | | | | | |
|---------|-------------|---|-----|--------|--------|-------|-------|
| 活動実績と成果 | 14 | <p>事業を実施する団体を年度当初に募集し、令和元年度は16団体(対象17団体)が事業を行った。また各団体が行う事業についても、申請段階において内容の審査を行い、より効果的な事業を実施することができている。これらの事業の結果、住民間の交流が深まるとともに、防犯活動、子どもの見守り活動などを継続して行うことができている。このように、地域住民が自らの課題を主体的・自己完結的に解決するための活動に対する支援を行うことにより、市民協働・市民参加による共助の地域まちづくりに寄与している。その他、各団体が実施している事業について、事業内容、効果、手法などの取り組み状況をまとめ、他の団体が実施する際に参考となるよう情報共有を行った。</p> | | | | | |
| | 指標名【活動指標】 | | 単位 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| | 15 | 地域まちづくり支援事業補助金交付事業数 | 件 | 目標値 | 17 | 17 | 17 |
| | | | 実績値 | 16 | 16 | 16 | |
| | | | 達成率 | 94% | 94% | 94% | |
| | | | 評価 | 普通 | 普通 | 普通 | |
| | 算出方法・設定根拠など | | 実績値 | | | | |
| | 指標名【成果指標】 | | 単位 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| | 16 | 事業実施協議会数 | 団体 | 目標値 | 17 | 17 | 17 |
| | | | 実績値 | 16 | 16 | 16 | |
| | | | 達成率 | 94% | 94% | 94% | |
| | | | 評価 | 普通 | 普通 | 普通 | |
| | 算出方法・設定根拠など | | 実績値 | | | | |

事業の効率性

| | | 区分 | 単位 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|----|----------------|---------------------|------|---------|---------|---------|
| 17 | ① | 地域まちづくり支援事業補助金交付事業数 | 件 | 16 | 16 | 16 |
| | ② | 上記①にかかる年間経費 | 千円 | 14,440 | 13,519 | 13,820 |
| | ③ | 単位当たり経費(②÷①×1,000円) | 円/単位 | 902,500 | 844,938 | 863,750 |
| | 備考(算出についての説明等) | | | | | |
| | | 区分 | 単位 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
| 18 | ① | | | | | |
| | ② | 上記①にかかる年間経費 | 千円 | | | |
| | ③ | 単位当たり経費(②÷①×1,000円) | 円/単位 | | | |
| | 備考(算出についての説明等) | | | | | |

業績の分析

| | | |
|----|--|--|
| | | 目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析) |
| 19 | | 事業の達成率が9割を超えており、事業の普及は進んでいる。また、地域住民が自主的にまちづくりを行う事業であり、地域の課題解決に直接寄与できるため、事業の有効性や効率性は高いと考えられる。 各地域が抱える課題は異なり、対象団体も限定されているため、RPA等のICTを活用する余地はない。 |

- 【分析のチェックポイント】**

 - 事業の達成度はどうでしたか。
 - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
 - 資源投入は適切でしたか。
 - 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
 - 有効性は高いですか。低いですか。
 - 効率性は向上していますか。
 - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
 - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

| | | | |
|-------|-------------------|-------|---------|
| 事務事業名 | 地域まちづくり支援事業(塚区) | シート番号 | 211-010 |
|-------|-------------------|-------|---------|

《 V. 点検 》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

| | | | | |
|--------------------------|-------------------------------------|--|---|---|
| コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性） | 20 | 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。 | 事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない | 廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 本事業を廃止した場合、校区まちづくり協議会が主体的に取り組んでいる地域課題解決等に向けた様々な取り組みが継続できなくなる。 |
| | 21 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。 | 事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない | 休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 地域課題解決等のために継続的に取り組んでいる事業が多くあるため、休止(延期)することはできない。 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降 |
| | 22 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。 | コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない | 縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 本事業を縮減すれば、校区まちづくり協議会が取り組んでいる地域課題解決等に向けた様々な取り組みが継続できなくなり、市民生活に多大な影響が生じる。 |
| | 23 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。 | 事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている | 改善する場合は改善策、その他は理由 補助事業であるため。 |
| | 24 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。 | 効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input checked="" type="checkbox"/> その他(新しい生活様式に対応) | 理由・説明 新型コロナウイルスに対応した取り組みも実施できるよう制度を弾力的に運用している。 |
| 25 | これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。 | 事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大 | 実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降 | 所見 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動の実施手法等も変化していく可能性が高い。そのような中で、地域課題解決等に向けた地域主体の活動が停滞しないよう、継続性の確保や新型コロナウイルスとの共存などの観点を踏まえつつ、支援のあり方を柔軟に検討し、対応していく。 |